

地籍調査が完了します

☎地籍調査室 ☎22-1257

地籍調査とは、一筆ごとの土地について、その所有者や地番・地目の調査、境界や地積に関する測量を行い、その結果を地図および簿冊にするものです。本市では、昭和55年度に小原地区から調査を始め、令和3年度に予定していたすべての調査を終え、事業は本年度で完了します。

地籍調査の成果により不動産登記の精度が高まり、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化が図れます。

地籍調査はこんなことに役立ちます

土地境界をめぐるトラブルの未然防止

一筆ごとの土地の境界が土地所有者などの立ち会いのもと確認し、その結果が数値データにより記録・保存されるため、将来の境界紛争の未然防止につながります。



登記手続の簡素化・費用縮減

地籍調査の成果により、登記手続のための境界確認作業がスムーズに行われ、経費や期間などの縮減が図れます。

各種事業や災害復旧などの迅速化・コスト縮減

個々の土地境界の位置が地球上の座標値と結びつけられ、成果が数値的に管理されることになるため、各種の事業活動や工事に迅速にとりかかることが可能になります。

課税の適正化・公平化

土地一筆ごとの正確な地目や面積が把握されるため、課税の適正化・公平化を図ることができます。



地籍調査の成果を取得したい

地籍調査の登記が完了すると、登記所で新しい登記簿や図面を取得することができます。また、地籍調査室では図面のほか測量に必要なデータを取得できます。

●手数料 集成図 (1,000円/枚)・集成図以外の図面など (300円/枚)



境界標識を復元（撤去）したい

地籍調査の成果により現地復元することができます。また、撤去したい場合は、隣接する土地所有者などの承諾や確認のもとに行ってください。いずれの作業も難しい場合は専門の土地家屋調査士などに依頼してください。



基準点の管理・保全にご協力ください

地籍調査の測量のため基準点（黄色のプラスチック杭など）を設置しています。この基準点は土地の境界が分からなくなった場合に使用する大事なものです。工事などで支障になる場合は地籍調査室までお問い合わせください。



▲教員による遊具の安全点検の様子

令和3年4月27日、白石第一小学校で防球ネットの支柱が折れ、児童が死傷する痛ましい事故が発生しました。本市では、その記憶を風化させず教訓として後世に伝え、二度と同じような事故を起こさないよう、安全で安心な学校づくりに努めていくことを誓う日として、4月27日を「白石市学校安全の日」と決めました。

「白石市学校安全の日」と定められた4月27日、白石第一小学校では、「学校安全の日集会」が行われ、5・6年生が体育館で、2から4年生が各教室からリモートで参加しました。集会で千葉英一校長は、昨年起きた事故について説明した後、「危険だと思ふことがあれば、小さなことでも構わないので先生に教えてほしい。皆さんの力も借りて安全な学校にしていきたい」と呼びかけました。児童と教員は、校長の話に真剣に耳を傾け、最後に参加者全員で黙とうを行いました。

放課後には、教員が校内の安全点検を実施。事故後に見直しを行った安全点検表に沿って、遊具やフェンスなどの状態を確認しました。

この日は、市内の各学校や幼稚園で、事故を風化させず後世に伝え、安全安心な学校づくりに努めることを目的に、全校集会や安全点検などの取り組みが行われました。



▲花が供えられた献花台



▲黙とうする参加者



▲真剣に話を聞く5・6年生の児童

「白石市学校安全の日」を制定